

■ 医学界の巨星

二木 謙三

ふたき けんぞう

出身地 秋田市

1873年（明治6年）～1966年（昭和41年）

せきり きん こまごめ きん きん そ こうしょう
赤痢菌の駒込A菌・B菌、鼠咬症スピロヘータを発

ふたき せきり
見、二木式赤痢分類表を発表。保健学を提唱し、

ふくしき こ きゅうほう げんまいしょく ふ きゅう こまごめ
腹式呼吸法や玄米食などの普及に努めた。駒込病

ていこく でんせんびょう
院長、東京帝国大学教授、日本伝染病学会長。本

くんしょう
県初の文化勲章受章者。



年譜

1873年 秋田市に生まれる。旧姓・樋口。
きゅうせい ひぐち

1901年 東京帝国大学医科大学卒業。
ていこく

1903年 コレラ菌の多型説提唱。
きん ていしょう

1904年 赤痢菌の駒込A菌・B菌発見。赤痢分類表を作成。
せきり きん こまごめ きん きん せきり

1905年 ドイツ・ミュンヘン大学に留学。免疫学を研究。
めんえきがく

1909年 医学博士となる。

1917年 高木逸麿らと鼠咬症スピロヘータを発見。
いつまろ そ こうしょう

1926年 日本伝染病学会設立。
でんせんびょう

1955年 文化勲章を受章。
くんしょう

1966年 東京都で没。93歳。
ぼつ さい